

審議会等議事概要

平成29年度 第1回 滝川市地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日 時	平成29年5月15日（月曜日）午後5時58分～午後7時20分
開催場所	滝川市役所 3階 302会議室
出席者	鈴木忠男委員、池田吉隆委員、青木恵子委員、佐々木哲委員、齊藤秀希委員、鈴木弘子委員、深村完市委員、橋 弘恭委員（欠席：原岡研二委員） 事務局：國嶋保健福祉部長、黒川介護福祉課長（兼地域包括支援センター所長）、土橋同課長補佐、橋本同課介護保険係主査、相澤地域包括支援センター副所長、加地同センター介護支援係長
議 事	1 開会 2 会長挨拶 会長より審議をよろしく願いたい旨の挨拶があった。 3 議事 （1）平成28年度滝川市地域包括支援センター事業報告について 事務局）資料に基づき説明を行った。 委 員）資料2ページの4.（1）ケアマネジャーの相談窓口の件数の増加の要因は何か。 事務局）ケアマネジャーがサービス計画を作成する際に、同一の訪問介護等事業所の紹介率が80%を超える場合には、利用者にとってこの事業所の利用が必要だというケース会議を開催しているが、その件数が増えている。また、認知症の困難事例や虐待の相談件数が増えている。 委 員）資料7ページの6.（9）北海道医療大学連携事業について、昨年の会議ではコミュニティワーク実習でアンケートを実施した人数が少なかったので滝川市の課題抽出という目的は達成されなかったという報告だったが、今回はどうだったのか。 事務局）学生がアンケート調査を行うという実習がメインの内容となっており、調査した人数は昨年度と同程度である。 委 員）具体的な課題は一つでも抽出できたのか。 事務局）大学より報告書が届いているので後日報告させていただく。 委 員）地域包括支援センターの支援のあり方について、外出の機会を持つことができている人の支援は良いが、家の中に閉じこもっている人への支援や発見の方法はどうしているのか。 事務局）75歳以上の方に実施している高齢者実態調査から発見していきたい。民生

委員、町内会長からのご相談により発見につながっているケースもある。地域包括支援センターだけではできない見守りが増えてきているので、皆さんのご協力もお願いしながら早期発見に努めていきたい。

委員) 資料6ページの6.(2)成年後見制度市長申し立て件数は、これから増えていくと思うが、成年後見人の引き受け先は把握しているのか。

事務局) 把握している。

委員) 28年度は社会福祉協議会が引き受けたが、27年度は専門職が引き受けたのか。

事務局) 司法書士が引き受けている。

委員) 孤独死の定義と28年度の件数を伺う。

事務局) 孤独死の定義は、死亡後1週間以上経って発見された場合と捉えている。

地域包括支援センターで把握しているのは2件であるが、消防や警察で把握している件数は、もう少し多いと思う。

委員) 消防や警察から連絡はないのか。

事務局) プライバシーの観点から、ご家族がはっきりとしている場合など市役所に連絡が入らないものもある。

委員) 死亡後1週間以上経って発見されたわけではないが、地域で一人暮らしの方が亡くなっていたという事例があり不安だという声があがっている。

事務局) 新聞が溜まっている、カーテンが閉まったままだという情報を地域の皆様からいただくようになってきているので、今後ともご協力をお願いしたい。

(2) 平成29年度滝川市地域包括支援センター事業計画について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

委員) 高齢化社会が進み地域での見守りが重要となってくると考えるが、学校を地域の見守りの場として解放することは検討されていないのか。

事務局) 学校には重要な方針として、不審者を入れないというセキュリティー管理の問題などもあり、なかなか進展がみられない難しい課題である。

委員) 学校の空き教室を高齢者や地域の方が集まれる活動の場とするような取組を教育委員会と連携して考えるべきではないか。

事務局) 例えば、放課後に学童クラブとして学校を利用することについても様々な問題により実現に至っていないなど、国の省庁間での調整も含め様々な課題解決を要する難しい問題である。

委員) 早急にというわけではないが、将来を見据えて地域活動をどう進めていくか、その中での学校の位置づけについて考える必要があるということを意見として述べておきたい。

(3) 平成29年度滝川市地域包括支援センター事業予算概要について

事務局) 資料に基づき説明を行った。

	(4) 認知症初期集中支援チーム活動報告及び活動計画について 事務局) 資料に基づき説明を行った。 委 員) 認知症初期集中支援チームで取り上げる事例の判断基準は何か。 事務局) 本来の目的は認知症の初期に集中的に関わり、病状の悪化を防止したいというものであり、28年度は病院受診やサービス利用につながらず困っている事例などを対象とした。 委 員) 認知症サポート医は滝川市立病院の医師1名しかいないのか。 事務局) 滝川市立病院にもう1名いるほか、市内他病院にも複数名いる。 委 員) 認知症ガイドブックは解りやすいので活用したいと思うが、いつ作成されたのか。 事務局) 29年1月に作成した。経費の都合上、全戸配付することはできなかったが、今後も高齢者のみなさんの目につくような場所へ配付していきたい。 委 員) 監修は認知症サポート医によるものか。 事務局) 記載されている病名等についてなど認知症サポート医の先生に監修をお願いした。 委 員) コピーをして活用してもよいか。 事務局) ホームページにも掲載されているので、是非活用していただきたい。 4 その他 ・委員より改築中の市内老人ホームに係る開設等について情報提供があった。 ・次回会議日程について例年同様11月頃の開催とし、会長に一任された。 5 閉 会
会議資料	資料 第1回滝川市地域包括支援センター運営協議会次第・議案資料